

蒲刈中学校区小中一貫教育だより



令和5年10月発行

清秋の候、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、蒲刈中学校区では、小中学校の教職員が義務教育9年間で児童生徒を育てるという意識を共有し、児童生徒のよりよい成長・発達を目指して指導方法を工夫しています。本年度は、新型コロナウイルス感染症が感染症第5類へ移行したことに伴い、コロナ禍前の教育活動を展開することが可能になり、普段の活動が戻ってきました。

今年度、ここまでの蒲刈中学校区の取組や児童生徒の様子などについて紹介します。

学校教育目標と研究主題等は次のとおりです。小学校・中学校の教職員が2つの部会に分かれ、部会内で両校の教職員が連携・協働しながら、取組を進めています。



学校教育目標「未来を拓く児童生徒の育成」

研究主題「学びを活かし課題解決を図る児童生徒の育成～授業改善と地域の学びを通して～」

「伸ばす学力」部会の取組

- 授業改善による学力向上（「課題発見・解決学習」や「教えて考えさせる授業」の充実）【授業改善】
- 自分の思いや考えを自己表現することができる授業等【自己表現】

「育む心」部会の取組

- 「ふるさと学習」の充実【授業改善・自己表現・自己肯定感】
- 自己肯定感を向上させる異校種・異学年交流の充実【自己肯定感】

・ ・ ・ ・ 主な小中合同行事や合同研修 ・ ・ ・ ・ 小中合同遠足「大津泊庭園」



5月1日（月）、小中合同の縦割り班（異校種・異学年グループ）で、下蒲刈の大津泊庭園に行きました。中学生が小学生を優しくリードしてくれ、小学生はとても喜んでいました。入学した小学1年生を歓迎する機会としても実施しました。小中合同で、児童会と生徒会が企画したゲームをし、青空の下でおいしいお弁当を食べ、楽しい遠足になりました。

遠足での往路では、蒲刈・下蒲刈派出所の井上巡査部長さん・加計警部補さんが、交通整理をしてくださり、目的地までの道のりを安全で安心して歩くことができました。このことは、地域のよさでもあります。

小中合同運動会



5月28日（日）、絶好の運動会日和の中、「令和5年度小中合同運動会」が開催されました。今年度は、来賓や地域の皆様にも観覧していただき、当たり前には運動会ができることの素晴らしさを改めて感じる運動会となりました。

小・中学生合同の団体種目や小・中学生が1本のバトンでつないだりレー、児童生徒がともに踊った「よしゃこい」、PTAが競った玉入れなど、蒲刈だからできる競技が満載の合同運動会となりました。どの児童生徒も自分の力を精一杯発揮し、頑張る姿を見せてくれるとともに、高学年児童や中学生は、テントの運搬・設置、机や椅子の出し入れ、係の仕事、片付け等の仕事について自身の役割として責任をもってやりとげました。

保護者・来賓の皆様から「小中学校でつなぐりレーはとても感動しました。みんな全力でかっこよかったです。」や「元気をもらいました。これからの成長も応援しています。」といった温かいお言葉（メッセージ）をいただいたことは、子供達にとって自己肯定感を高めることにもつながりました。本当にありがとうございました。

小中合同研修会（研究授業）小学校



事前に小中教職員が授業づくり



指導案を基に授業を実施



授業後に協議会（振り返り）

小中の教職員が、「主体的・対話的で深い学び」となる授業づくり（授業改善）に取り組んでいます。今回は小学校第2学年算数科での研修です。担任が事前に考えていた授業構想について説明し、「子供達が意欲的に学習に取り組み、ともに理解を深め合うこと」ができるように教職員で考えを出し合いました。

協議したこと（指導案）を基にして、7月4日（火）、実際に授業を行い、小・中学校の教職員が小学校第2学年算数科の授業に参観しました。指導者の発問や児童の反応等を観察したり記録したりした上で、授業後の協議会で成果や課題について話し合いました。

この日の研修会では、広島大学附属東雲小学校校長（兼広島大学大学院教授）の松浦武人先生にお越しいただき、指導をしていただきました。「算数科・数学科の問題解決の過程において大切にしたいこと」と「見通しをもたせる工夫について」を具体的な事象を通して、指導していただきました。今後の授業改善に活用していきます。